

たてものの保全活用通信

発行日：平成28年 3月31日

発行者：建築課施設計画係、行政管理課施設活用係

編集：細谷、勝俣、萩原、古谷

Vol. 11

たてものの通信編集員が見つけた 施設のステキで賞

本通信の取材や、建築物の劣化調査などで施設に伺う中で見つけた施設管理や施設の使い方の工夫などの中から一部をご紹介します。

執務室の快適化でコミュニケーションの活性化で賞

コミュニケーションの向上や業務の効率化のために、執務室や倉庫などの整理整頓を行っている職員課を取材しました。

管理監督者が率先して

課長が自身の机などを片づけることから始め、片づけのリーダーを決めて取り組んでいるそうです。

大きく動き出したのは、副課長や係長が机を整理してからで、綺麗になった上司の机を見て、周囲の職員も片づけていったのだとか。帰宅時の机は、ほとんど物が置かれておらず清潔感にあふれていました。

倉庫の書類も一緒に見直す

倉庫や研修室の書類は、保存年限をチェックしながら整理・廃棄した上で、執務室内の書類を片づけた倉庫等へ移動しているそうです。

職員が楽しんでやることも大切だと感じました。



本立て等をなくすことで、顔が見えて、コミュニケーションが取りやすくなった！

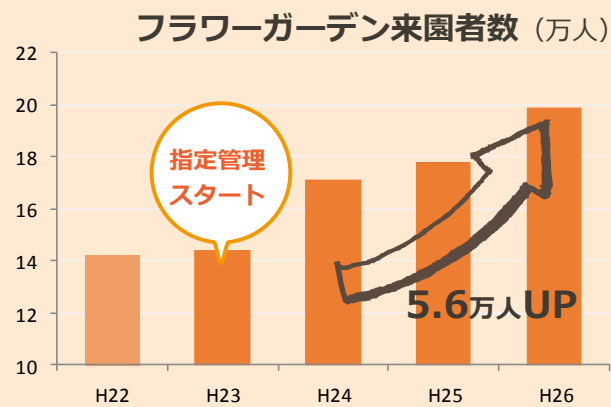
美濃島係長

一度綺麗にすることで、汚しづらくなり、自ずと回りも綺麗になっていった！

岩田係長(片づけリーダー)

来園者を呼び込む指定管理者の「おもてなし」で賞

指定管理者制度の導入以降、来園者数が年々増加しているフラワーガーデン。今回は、園長・八木量子さんに、管理運営にあたっての工夫や今後の課題について伺いました。



建物保全面での

苦勞や工夫は？

ハード面では、老朽化が進み、修繕しては壊れまた直しといった、いたちごっこです。施設管理者として、毎日の点検や館内の清掃など、自分たちで出来ることは分担して行っています。



園長
やぎ りょうこ
八木 量子さん

来園者を増やすための工夫は？

また来たいと思っていたけりう、季節毎のイベントや朝市の開催などソフト面の充実も図っています。

ご家族連れ向けに、キッズスペースや図書コーナーを設置したり、県外からの来館者も多いため、お土産ブースの確保するなど、館内でゆつくりと過ごすための工夫をしています。



お花が飾られた
トイレの洗面台



来園者がどこから来たのか、地図上にシールを貼ります。

季節限定メニューのあるカフェ。更なる魅力アップを検討中！



グッジョブ大賞 官民協働で熱融通で賞

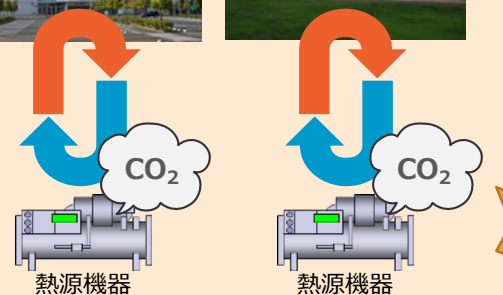
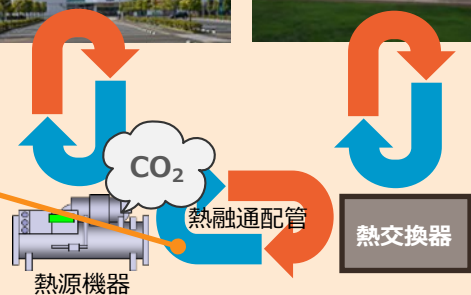
賞

熱融通についてもっと知りたい方は → 『建物間熱融通普及促進マニュアル (国土交通省)』

熱源機器…空調用に冷水や温水をつくる機械。

熱交換機…水から水、水から空気などに熱を伝える機械。

実際の熱融通管



低炭素都市づくりのモデル

川東タウンセンターマロニエとダイナシティイースト(イトーヨーカドーのある建物)は、開館から約20年が経過し、両施設とも空調用の熱源機器の更新時期を迎えていました。

そこで、平成26年9月に策定した低炭素都市づくり計画に掲げた「エネルギーの面的利用」の普及を図るため、国の補助金の採択を受け、建物間熱融通事業を実施しました。

冷暖房用の冷温水を共有

熱融通事業とは、近接する建物間で冷暖房用の冷温水を互いに融通するものです。

具体的には、①両施設に設置されていた熱源機器のうち、マロニエの熱源機器の使用を停止、②ダイナシティイーストの熱源機器を高効率機器に更新、③両施設をつなぐ配管(熱融通配管)を設置、④③の配管を通じて、ダイナシティイーストの熱源機器からマロニエにも冷温水を供給し、マロニエの冷暖房に使っています。

設備の整備や維持管理は、(株)ダイナシティが行い、市は(株)ダイナシティに熱供給に係る使用料を支払います。

設備更新費とCO2が削減

これによりマロニエでは、熱源機器の更新や維持修繕等に係る経費が大幅に削減されました。また、それぞれの施設が単独で機器を交換した場合に比べて、CO2排出量の削減が見込まれます。

エネルギー事業者からの供給ではなく公共と民間が協力する事例は、これまでないことであり、先導的な事業となりました。